

第3章 計画の運用

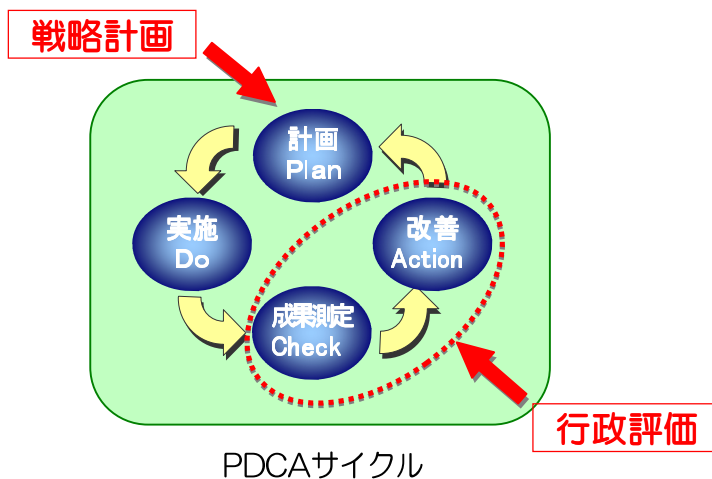
第1節 運用の考え方

「江南市戦略計画」の運用にあたっては、まずは、地域の構成員が、めざす目標を共有し認識することが必要です。次に、その実現に向けてそれぞれの役割を適切に果たし行動することが重要です。さらに、行動した結果、計画どおりに成果が実現されているか、まちづくりが順調に進んでいるかを定期的に確認し、進捗よく問題があれば、改善を図ることになります。

このような、計画の策定 [PLAN]、実施 [DO]、成果測定（評価）[CHECK]、改善 [ACTION] というPDCAのマネジメントサイクル^{※1}を確立することにより、「江南市戦略計画」の適切な運用を図ります。

第2節 進行管理の方法

「江南市戦略計画」の進行管理は、「行政評価システム」を活用して、定期的な「成果測定（評価）」と恒常的な「改善」を通じて実施します。進行管理は、「市民と市役所が推進するまちづくり」、「市役所が推進する施策」、「市役所が推進する事務事業」の3つの階層において、実施することとします。



[PDCAのマネジメントサイクルと行政評価]

※1 マネジメントサイクルとは、計画を立て [PLAN]、それを実施し [DO]、その成果を測定（評価）して [CHECK]、その結果を踏まえて改善活動を行う [ACTION]、組織運営や業務遂行の一連の流れ。PDCAを繰り返し行うことにより、継続的にマネジメントの質を高めることをめざすもの。

◇市民と市役所が推進するまちづくりの進行管理

まちづくりの進行管理は、「江南市戦略計画」の基本計画に掲げた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより実施します。「(仮称)まちづくり評価システム」を活用して、成果の実現状況を測定し、改善方策を検討します。

基本計画の成果目標は、市民と市役所が協働でめざす目標であることから、「(仮称)江南市まちづくり会議」を設置し、その達成状況についても協働で確認を行い、その結果については、短期的にはそれぞれの行動へ、中期的には次の基本計画の見直しへと反映させます。また、進行管理の結果については、広く地域の構成員が共有できるよう、「(仮称)江南市まちづくり白書」としてとりまとめ報告します。

◇市役所が推進する施策の進行管理

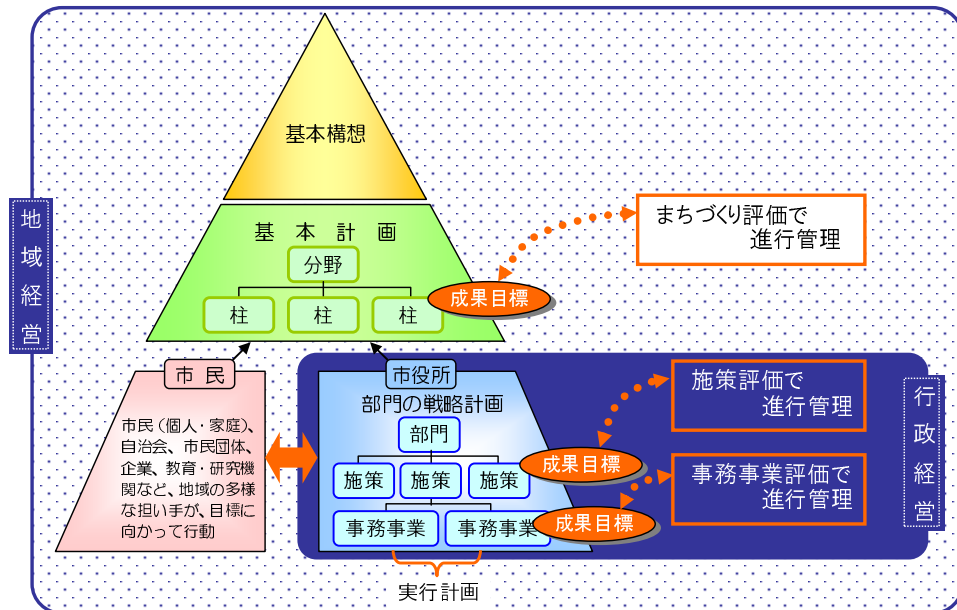
市役所が推進する施策の進行管理は、「江南市戦略計画」の部門の戦略計画に掲げた各施策の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより実施します。「(仮称)施策評価システム」を活用して、成果の実現状況を測定し、改善方策を検討します。

各施策の推進責任を負う市役所の各組織(部と課)が、責任をもって目標達成状況を確認し、その結果については、短期的には次年度の組織運営や施策展開へ、中期的には次の部門の戦略計画策定へと反映させます。また、進行管理の結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く公表していきます。

◇市役所が推進する事務事業の進行管理

市役所が推進する事務事業の進行管理は、「江南市戦略計画」の部門の戦略計画の実行計画に掲げた各事務事業の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより実施します。「事務事業評価システム」を活用して、成果の実現状況を測定し、改善方策を検討します。

各事務事業の推進責任を負う市役所の各組織(課・グループ)が、責任をもって目標達成状況を確認し、その結果については、短期的には次年度の事業展開や予算編成(実行計画の時点修正)へ、中期的には次の部門の戦略計画・実行計画策定へと反映させます。また、進行管理の結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く公表していきます。



[行政評価システムによる進行管理のイメージ]